

令和5年度 神戸市立狩場台小学校 学校評価報告書

校園長名

り学の校 目づ 標く	主体性を伸ばす学校・地域とつながる学校
------------------	---------------------

内容	重点的な取組み	評点 (4段階)	特記事項 (学校自己評価)	関係者評価 (学校自己評価に対する学校運営協議会の意見等)	学校自己評価、関係者評価を踏まえた 次年度の重点的な取組みの案	
心豊かでたくましい子の育成						
育てたい 子供の姿	互いに認め合い、 助け合うことのできる子	3	場に応じた言葉遣いや適切な話し方ができる	クラスに慣れることで、自信をもって発言できる子が増えてきている。あだ名呼びや呼び捨てなどへの指導を大切にしている。	温かい関係が作られているクラスが多く、友達同士、教師の児童の会話も良い雰囲気である。	教師が丁寧な言葉遣いで手本を見せる。今年度同様、アンテナを高くもつ。
		3	クラスの友達や異学年の友達と仲良く過ごしたり、協力して活動したりすることができる	比較的、仲良く過ごせている。またかりぱっこ活動では、1～6年までが仲良く活動できている。	温かい雰囲気ですべての授業ができています。	職員会、校内委員会、生徒指導委員会等で、全教師が他学年の児童の様子を知り、多くの目で子供を見守る。
		4	係や当番活動などにすすんで取り組むことができる	楽しんで行う係活動にも給食や清掃など毎日の当番活動にも、自主的に取り組むことができている児童が多い。	自分たちで考え活動できているのはとても良いので、これからも続けられるように期待している。	自主的に頑張っている児童を褒める。自主的に活動できるように、活動の意義について語ったり考えさせたりする。
	学ぶことの楽しさを知り、 豊かに表現できる子	3	基礎学力が定着している	定着している児童が比較的多いが、個人差がある。放課後学習などで、少しでも差をなくしていく指導を継続中。	パソコンばかりでなく、鉛筆の持ち方などを低学年の時にきちんとしつけることが大切。	各学年の算数の重点単元では、学習指導員と学年で協力して、休み時間や放課後を使い、学力の習熟を図る。
		3	学習活動に意欲的に取り組んでいる	どの授業にも頑張っており取り組んでいる児童が多い。	教師が工夫して授業をしており、講義型ではなく様々な形で意欲的に取り組むことができている。	授業準備ができる時間を確保し、質の高い授業をする。
		2	学習の中でICT機器を効果的に活用できる	委員会からの指導を受け、より効果的に児童がICT機器を活用できるように授業に取り入れる努力をしている。	パソコンや電子黒板等を効果的に使っている。	校内、郊外からのICTの研修を入れて、教師のスキルアップをし、より効果的に授業に運用できるようにする。
	何事にもチャレンジし、 いきいき楽しむ子	3	進んであいさつができる	毎月のめあてを決めて「かりぱっこすてきあいさつ」に取り組んだことで、めあてを意識して、あいさつをできる子が増えてきている。	地域でもあいさつの輪が広がられるように、学校と地域での協力・連携をしていきたい。	「かりぱっこすてきあいさつ」の継続。代表委員会のあいさつ運動などを行い、あいさつの質を上げる。
		3	学校行事に積極的に取り組むことができる	高学年が準備片付けを含めて、よい手本を見せている。伝統としてつなげていきたい。	行事などを通して、他学年の頑張りを見あう場が今年はたくさんあり、よかった。	高学年の児童主体でできることを増やし、自分たちが作り上げた行事という達成感を感じさせる。
		3	明るく、楽しい学校生活を送っている	休み時間、元気に運動場で遊んでいる児童が多い。	とても明るい表情をしている子が多い。	教師が明るく元気に教室で過ごせるように、勤務時間が長くなりすぎないようにする。職員同士が明るくコミュニケーションをとる。
全 市 的 に 推 進 す べ き こ と	①いじめ防止対策に関する取組み	3	定期的な会議を開き、担任個人ではなく、チームとして問題に向き合える組織づくりを行っている。		今年度同様、定期的な会議、普段の学年打ち合わせなどを大切に、個人ではなくチームで動く。	
	②不登校支援の取組み	3	いじめと同様に、本人と担任だけの問題としてとらえず、家庭学校地域の問題として、みんなで不安感の強い児童を見守る形をつくっていくことが必要。	学校には行けなくても、児童館で受け入れるなど地域で協力できることはしていきたい。	来年度から、不登校担当の職員がつくので、担任と不登校担当職員が協力して対応できるようにする。サポートルームの整備。	
	③教職員の業務改善	3	子どもとの関わりに注力できる業務改善が進んでいる	少しずつだが前進している。		来年度も、職員の家庭生活の充実と児童の教育活動に活かせる業務改善を進める。
	④「すぐーる」の活用、ホームページにおける情報発信	4	「すぐーる」、HP、学校・学年だより等で学校の様子を分かりやすく伝えることができている	毎日の子供の学習の様子をHPにのせていることは、好評をいただいている。何を紙で伝え、何を「すぐーる」で伝えるのか、移行期に入っている。	すぐーるで送られると、なくすということがないので助かる。ただ、頻度が多いときちんと読まないことが多くなる。	HPとすぐーるの活用を進める。
	⑤学校生活のルールや決まり(校則など)について	3	不易と流行を考え、今の狩場台小学校の現状にあったきまりになっている	毎年、きまりについて話し合い考える機会を設けることは必要である。		来年度も、きまりについて話し合う機会を設ける。

【評点】 4：十分達成できた 3：おおむね達成できた 2：どちらかと言えば課題がある 1：課題がある